

地質ニュース

昭和 47 年 6 月

第 214 号

1972

解 説	1972年2月29日 八丈島近海の地震について…衣笠 善博…1
	昭和47年度の事業計画……………企画 室…7
	地盤振動と耐震調査……………柴 藤 喜 平…10 武 富 正 憲
トピックス	新しい地熱発電の可能性……………馬 場 健 三…16
	エカフエ石油法制セミナー ～とくに海洋開発と関連して～…佐 藤 良 昭…19
講 座	層位学(総論 その10-1)……………福 田 理…24
学会ニュース	磁気極性編年尺度設定への動きと提案……………福 田 理…33
海外事情	地下資源の発見と開発(その4)～鉱山発見の開拓者たち～…郷 原 範 造…36
	スイスの自然と人々(1)……………星 野 一 男…42
	オーストラリアのプレカンブリアンと鉱物資源の分布…高 島 清…52
	学 会 掲 示 板……………35

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

溶 岩 樹 型

溶岩樹型とは 溶岩につつまれた樹木のあとが 溶岩中に印象として残されたものをいう。この写真は西暦864年に流出した富士山の青木が原溶岩中のもので 北麓鳴沢村の採石場に断面があらわれたものである。ハンマーの上下には 直立した樹幹のはだのあとが明瞭に残され 画面下部の成層した降下スコリア層中に根のあとらしい縦孔がつづいている。スコリア層の上面は風化土化し それが根のあとの孔にも流れこんで埋めている。風化土が写真で明色にみえているのは 上を覆った溶岩の熱で酸化して鮮紅色を呈しているためである。土中には横向きに炭化木が入っていて 樹の根と思われる。樹幹は焼失したが 土中に入った根は酸素の供給が足りなくて炭が残ったものであろう。青木が原溶岩をはじめ富士山の溶岩中には 直立・横臥など各種の樹型が多く発見されており(地質ニュース 本年1月号参照) また樹木と接した溶岩中には 炭素の強い還元作用のために生じた自然鉄がふくまれていることが最近発見されている。(文 小野晃司 写真 正井義郎)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社